

**Glasgow School of Art**

---

# **月間報告書**

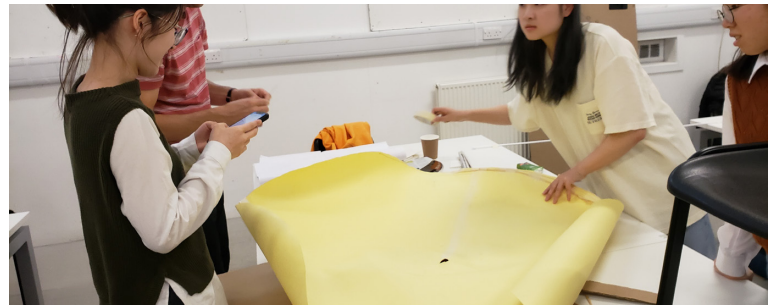
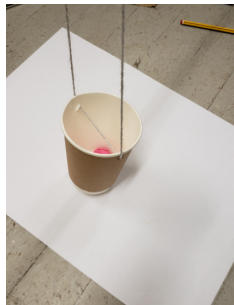
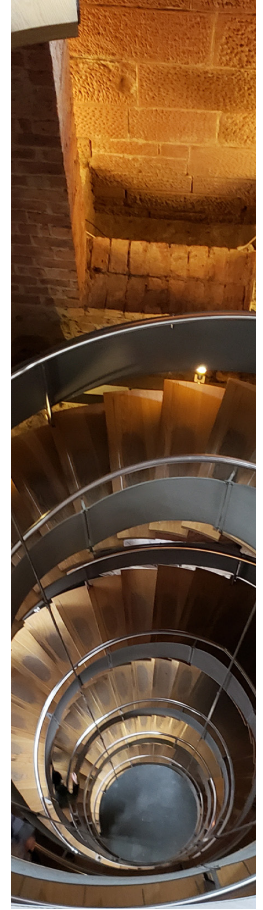
**2019.9.4 - 2019.10.5**



最初の週に出された「グラスゴウの観光名所を探検してポイントを集めよう!」という宿題やレイモンド湖へのデイトリップのおかげで、色んなところに行けた他友達もたくさん作ることができました。

レクチャーの内容としては"デザインイノベーションとは何か"といった内容から、デザインを行う上での心構え、ツールの紹介、デザインの過程の紹介など「デザイン畑にいなかった人向けのイントロダクション」のような内容が多く、千葉大でこれまで学んだことの復習といった印象を受けました。

レクチャー中、教授が冗談を言って笑うシーンや生徒が突然コメントを挟むシーンなど、月並みな感想ですが日本の一方通行気味と言われがちな授業形態とはかなり雰囲気が違うのを感じました。



デザインにおける手を動かす練習としてピタゴラスイッチの製作をしました。私のチームは最初に作った構造がうまくいかず、時間もなかったので振り子を最終提案としてのですが、とにかく失敗しながら作る練習としては楽しかったです。

10月に入ってから少し本格的に、フィールドリサーチの仕方を学ぶようになりました。どういったことに着目するのか、実際にフィールドリサーチを行う際の資料の集め方のレクチャーから実際自分たちでグループごとのテーマに沿った調査を行い、最終的にプレゼンテーションをしました。

こちらの学生は紙に書かず口頭で議論を済ます傾向が強く、会話についていくのに苦労しました。

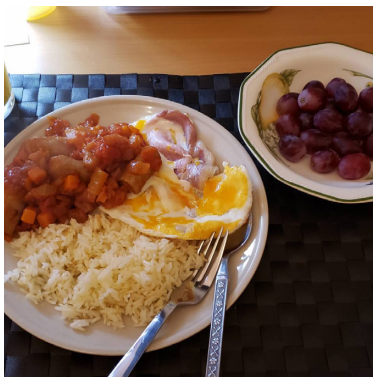
# 最早ウエルカムマンス

STUDY



もともと実家暮らしだったので初の一人暮らしになります。学生寮の抽選に落ち、こちらで住居探しを開始したのですが仮住まいの Airbnb を追い出されたと思ったら急に新居が決まるなど、かなりバタバタしました。住居が決まってからはウェルカムウィークで色々な人と知り合ったり出かけたたり、忙しない1ヶ月だったようにも感じます。

グラスゴー探検の宿題のおかげもあり、かなり観光に時間を当てられたので、このままグラスゴー観光名所制覇を目指してがんばります。



前述の通り初めての一人暮らしでまず一番しんどいのは毎日の食事でした。もともと食に興味がないので、とりあえず栄養価が偏らないように毎食きちんと食べるのを目標にしています。

右の写真は友達の中国人の家にお邪魔したときのもので、かなり辛かったです…。お寿司も作ってくれて久々に具沢山のご飯を食べられました。

英国はフィッシュアンドチップスのような肉と揚げ物が多い感じで、ジャンクフードの王様だと思っていたマックが震えています。揚げたてがすごい美味しい変わりに、外食は少し高めです。



留学前に卒業研究などで英語の勉強を後回しにしていたツケがたり、こちらでの英語のコミュニケーションにかなり苦戦しています。議論に加われないのがなんとも歯がゆく、今必死で英語のリスニングとスピーキングの練習を毎日行なっています。

加えて英語以上に、議論に割って入れない弱さや自信のなさ、日和見主義など自分の内面の問題と向き合うことが多く、これからこの問題を越える過程を楽しみたいと思っています。

# 観光栄養不足 コミュニケーション

DAILY LIFE

# Glasgow School of

# Art

月間報告書

2019.10.6-2019.12.5

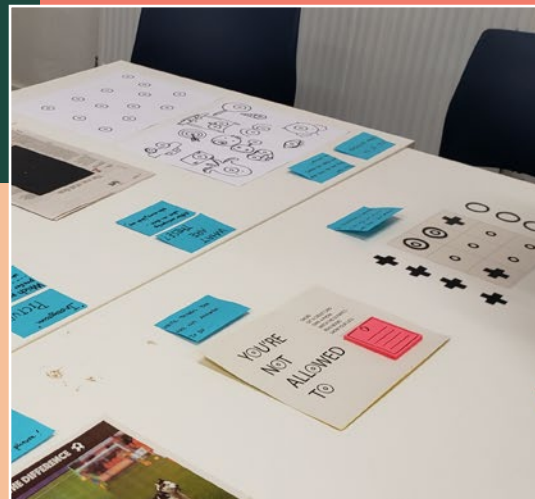
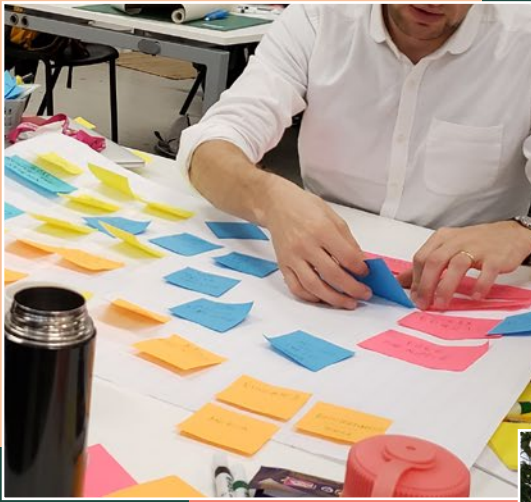


# 学習 10月

9月の終わり頃から、いよいよプロジェクトらしい授業が始まった。元々1年間で3つのステージに分かれているプログラムで、私が滞在中に学ぶステージ1ではデザインにおけるリサーチの方法やその特徴、得られたデータをどうデザインに組み込むのかといった、デザインリサーチの基本についてが扱われる。朝10時にスタジオに集合して、午前中は講師陣からのレクチャーを受け、それを午後からグループに分かれて実践するといった内容になっている。

もうこれが、これがつらい！英語を大して努力していなかった影響もある上、スコティッシュ訛りが実に耳に馴染まない。そしてその後は「英国」に留学にくる実力が伴った人たちとグループワークが待っている。しかもそのワークでは大抵グループごとにテーマが与えられるのだが、愛とか宝物みたいな抽象的ばかり。デザインのバックグラウンドがあるおかげでなんとか授業の内容をギリギリ理解できたのに、テーマが曖昧なのでまずグループ内でワークの方向性を話し合わないといけない。もちろんテーマが抽象的であればそのスタートも抽象的になる。「今なにやってんだ？でも話の腰折れないぞ…」なんてしどろもどろになっていると「君はどう思う？」なんて聞かれる。よくわからないことしか言っていないのを自覚しながら心の中で平謝りだ。これが毎日続く。

グループメンバーにイラつかれながら、鼻で笑われながら、そして毎朝あーいきたくねえなあ…と思いながら、あっという間に滑っていった、メンタルクライシス必至な月だった。過去に戻れるなら毎日英語を勉強するのに！

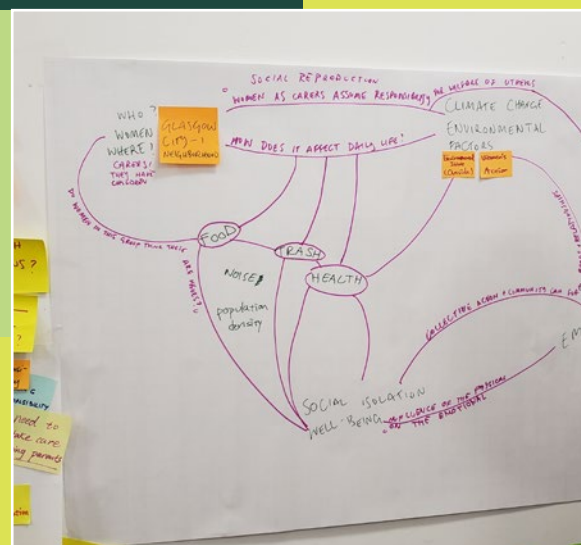
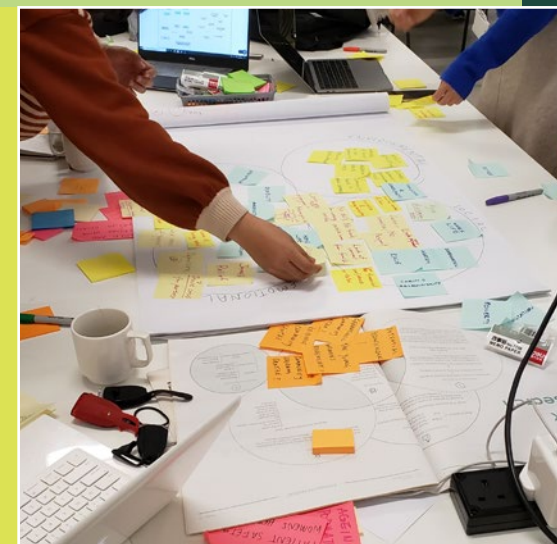


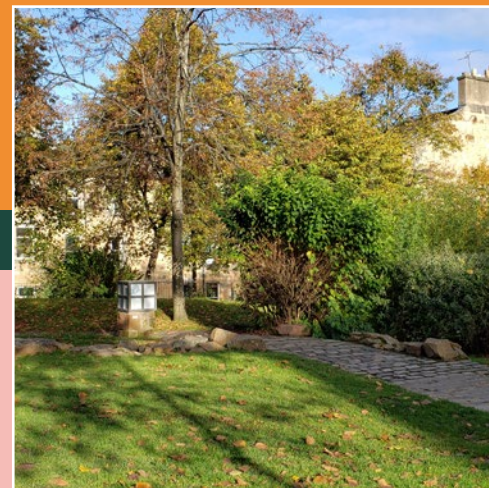
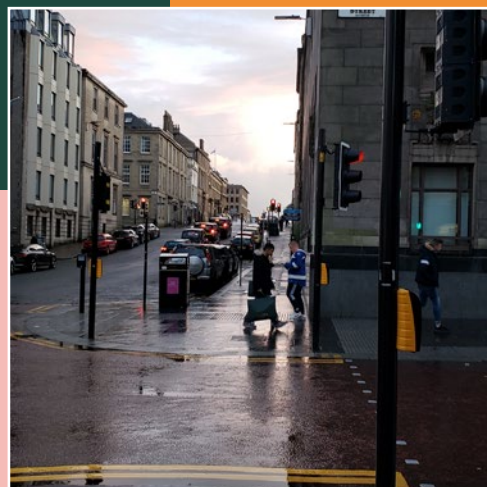
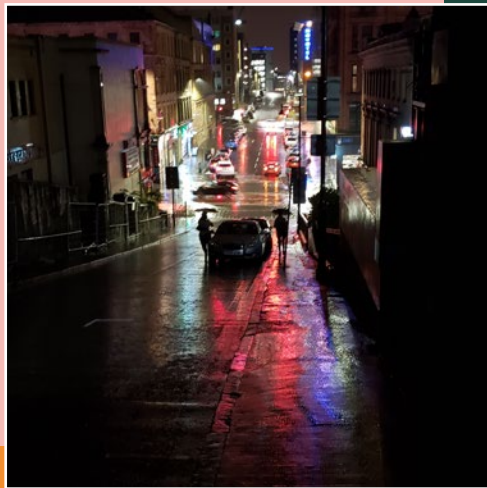
# 学習 11月

という感じで結構精神にはタフな10月を過ごしたおかげで、英語との付き合い方をいい加減学ぶことができるようになってくる。会話でもノートテイク、シャドウイング、毎朝TEDを聞いたりなんかしている内、なんとかグループの話し合いの「リスニング」はできるようになってくる。方向性が分かればある程度の発言はできるので、それなりに外的を外れまくった発言は減ってきたと10月後半ではある程度手応えを感じ始めた。

ただこれはもちろん英語だけの問題、そもそも他の人が留学前にすでにクリアしているキホンのキなので、これがある程度解決されてきたとなっても次はグループワークでのポジションに悩むようになった。発言が的外れじゃない代わりに魅力的じゃない。自分でいいと思ったアイデアでも良さが伝わらない。相手のアイデアを展開する力に乏しい。自分はアイデアの図式化、イラスト化が強みなのでそれで理解補助とアイデアの展開を促そうとするのだが、ただでさえ数秒間での情報量が多いと言われがちでな英語を使って目の前で3人がマシニングトークをしている。また、そもそもの自分の問題として、話が複雑になってくる中で話を進める推進力を生み出せない。英語でもデザイナーとしても歯がゆい思いをしながら、それでも成長できていると信じたい、と微かな希望だけ持っている。

来週最後のプレゼン、自分はどれだけ貢献できたのか、きっと疑問に思いながらスクリーンの前に立つのだろうなと考えながらプレゼン準備をする。





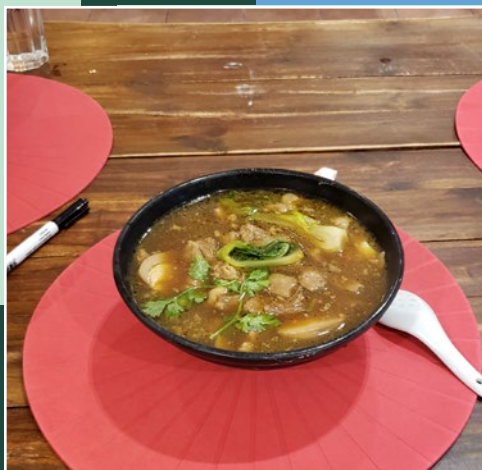
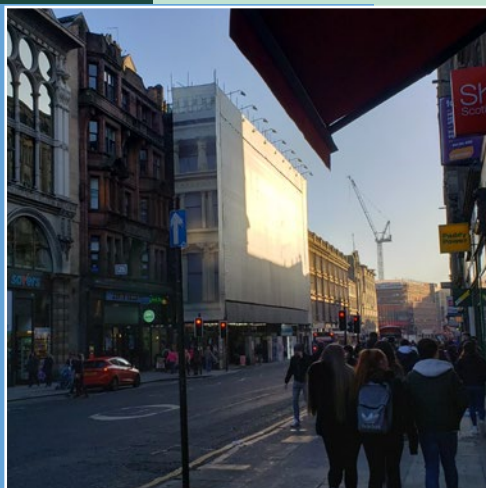
## 生活 10月

グラスゴーにきて1週間近くがたち、それなりに落ち着いてきた。炊事や洗濯といった生活の基盤も安定してきたし、休みには相変わらず友人とどこかへいったりもしている。ただこの月はメンタルがかなり危うい月になってしまった。英語もあるが、自分の怠惰さやいかに環境に甘えていたのかということを感じたからだ。学びにきているコースが大学卒業生向け、つまりは社会人だった人もいるわけで、その勤勉さといったらない。Slackで意見交換や授業に関係している有益な情報を共有しまくる。彼らの普段の生活さえも授業と結びついているし、日常と授業を関連して考えているし、そして普段からそのためにセンスを鋭敏に研ぎ澄ませている人が多い。インプットへの態度が真面目なのだ。誰だ日本人は勤勉とかいったやつ。全然勤勉じゃないぞ！と思いながら、とにかく私はその日習ったこと、話し合ったことの復習をして、そのまま疲れ切って眠りに落ちる、という日々を送っていた。10月を心を入れ替えるのに使い切ってしまったのが今でも歯がゆい。

# 生活 11月

住んでいる共有フラットを掃除しろ！と突然大家から連絡が来たり、ボイラーが壊れて極寒の中暖房が使えなくなったり、大家が脱税しているのが発覚したりと問題が発生し続ける月だった。その一方で、毎日 TED を聞くとか、英語の文章を読む機会が増えたおかげでかなり英語への親和性が高まった月にもなった。自分が如何に努力不足だったのか痛感したおかげで、本を読んだり朝起きて活動したり、自分にとっていい変化が起きたと言える。留学にまでこないようなれなかったのはどうなんだとは思いますが、11月は留学に来てよかった！とか、グループワーク楽しいじゃん！なんて肯定的になれたいい月だった。意識している課題はまだまだあるので、なんとかくらくらいつけたらいいなと思う。

これを書いている時点で既にグラスゴー出発まで2ヶ月をきっているというのが信じられない。グラスゴーの苔むした建物、すぐに凍る道、曇天、こもるように視界を塞ぐ霧雨、そのどれもが好きになってきている自分があと2ヶ月で消えるなんて！と悲しく思いながら、この「地元」に思い残しがないよう、日々変わっていく景色やイベントを十分に楽しみたい。





# 月間 報告

2019.12.6 - 2020.2.5



## 師走



11月末から12月にかけて、4weekプロジェクトの最終プレゼンと個人での提出課題の作成に奔走していました。朝8時に図書館に着いて10時まで作業し、10時から4weekプロジェクトのためにグループワークの話し合いをし、それが終わると今度は18時から22時までまた図書館で作業…という浪人生のような生活をしていました。

グループワークには課題が残るものの、ある程度英語でのやりとりに慣れてきたおかげで以前ほど大変さを感じなくなり、得意の絵を用い流などして意見を伝えることができるようになってきました。その一方で個人課題に四苦八苦していて、「自分が今まででやったプロジェクトに関するリサーチメソッドに関する批判性のあるレポート」と「そのプロジェクトに関する注釈付きポートフォリオ」、そして「4weekプロジェクトのポートフォリオ」3点出たのですが、特に前者二つは『どういった主義、立場に立ったが故にどういった手法を使ったりサーチをしたのか』という一貫性を持たせる必要があり、まずリサーチメソッドの本からそれぞれの主義主張、リサーチに対するスタンスを比較するところから始める必要がありました。英語の本などまるっきり読んだことがなかったので、とにかく読むのに時間がかかる、噛み砕いて理解するにも時間がかかる、というか単語が難しくてわからん！という感じで、朝と夜合わせて6時間はメソッドに関する本とグーグル翻訳とをにらめっこしていました。

そんなこんなで今までと比較しても一番忙しかった12月、あっという間にファイナルプレゼンと課題提出の日になり…この課題のおかげで英語の文章も読みやすくなり、英語に対する苦手意識がガラリと変わったようにも感じるので、大変ではありましたが良い経験だったな—などと思っています（もうやりたくありませんが笑）。

冬休みはもちろん、これでもか！というほどイギリスを満喫しましたが、それはまた別のお話…。

## 睦月



1月の二週目から、ウィンタースクールという2週間のワークショップがあったため私も参加させていただきました。普段はグラスゴーに校舎があるのですが、このワークショップではフォレスというグラスゴーから北へ車で4時間ほどの北部にある地域の別校舎で開催されました。

ドイツ、ポルトガル、日本（というか我らが千葉大学！）など様々な場所の大学から学生が参加する一大イベントで、美味しいランチが無料（嬉しい！！）、最後に先生方のトークセッションがあったり、ダンスパーティーがあったりと大盛り上がりでした。

一週目は自然豊かな校舎周りを見て回ったり、午前と午後それぞれ違った先生の講習を受け、主に「自然と人間の共存」というテーマでプロジェクトを知ることができました。またグーグルから来た方が、グーグルで行ったプロジェクトとその技術に関するプレゼンが行われました。二週目では一週目での知識を参考にしながら、グループごとに割り当てられたそれぞれの場所と、人間サイドか自然サイドかという2つのスタンスを前提として「人間と自然の共生」をテーマにした提案を作成していきました。勧められ方はデザインプリントという1週間でアイデア提案をする方法を参考にしているらしく、一日目に調査と提案ができそうなポイントの列挙、二日目にアイデア出し、三日目にプロトタイプ、四日目に仕上げとファイナルプレゼンという形でした。どのグループも難航し、私たちのグループも同じく頭を悩ませていましたが、最後には「釣った魚を持ち帰る感覚で動く魚ロボット」を提案し、投票で賞を得ることができました！

そして終わった後はケルト音楽でダンスパーティー！飲んで騒いで踊って、楽しいワークショップも終了。翌日は自然豊かなハイランドからバスで帰り、ドイツに渡るまでの数日間をグラスゴーで過ごしつつ、半年あつという間だったなあという寂しさと一緒に荷物をまとめました。

NEXT



2月に入り、準備したいことや勉強したいこと、この半年間のまとめなどを時間のあるうちにやっておきたいと思い、早々にドイツへ渡って翌日に住居をゲット、現在そこでこれを書いている状況です。いつもながらいきあたりばったりでなんとかなっていることに感謝するばかりです…。

留学の本来の趣旨とは外れているかもしれないのですが、GSAではグルワを通して自分を見つめ直すことができ、生き方を少しずつ変える契機が得られました。また、自分の問題点と自分に合わせたグルワへの適応方法についても考えることができ、今後エキスパート同士のつなぎ役となるために何が必要なのかを考えられるようになったのは良い経験をさせてもらいました。

GSAでのワークを通じて、自分がどんなデザイナーになりたいのか、そのために何がしたいのかについて再度考えられたので、これをどうにかKISDで活かすべく履修計画書を読んでいる最中です。なんとというか、残り時間の少なさに焦るばかりで、自分はちゃんと正しい選択ができているのか、時間を無駄にしてばかりだなどと落ち込むことも多いのですが、今この時間を使って落ち着いて、ネクストステップを計画したいと思っています。

なんだかんだでGSAでは別れに泣くくらい仲のいい友達もでき、精神的な整理もでき、といいことづくめだったと思いますし、情けない話ですがあれだけ追い詰められないと自分は成長できないのだなあという知見を得ることもできました。半年だけでこれだけ価値観や考え方、感じ方が変わったのは驚きですし、留学させてもらってる状況が本当にありがたいです。

あと6ヶ月…怠惰な性格ゆえにより気を引き締めて、自分を成長させられたらと考えています。来月からの授業が楽しみで仕方ありません。